

作品③ p054-055:

「1937 年頃、満洲国撫順市の撫順プールにて、13 歳頃の母と 13 歳の私」

Mother at 13 and me at the same age at Fushun Pool circa 1937

120cm x 180cm、過去と現在の写真によるデジタルイメージをデジタル C プリント、2018 年制作

モノクロ風景:祖父のアルバムより「1937 年頃、満洲国撫順市の撫順プール」の写真

モノクロ母像:祖父のアルバムより「1937 年頃、満洲国撫順市の写真館」の写真

カラー風景:2004 年 9 月、中国撫順市の壊れた撫順プールにて撮影

カラー私像:1966 年 1 月、兵庫県姫路市の射楯兵主神社にて父が撮影。その他

瀋陽でツアーをドロップアウトして撫順を訪問した。母が 9 歳から 17 歳まで、満洲で最も長く、最も多感な時期を過ごした街だ。瀋陽駅で東京撫順会紹介の案内人の周さんと落ち合い、東へ車を飛ばして約 1 時間で撫順に入った。渾河、撫順駅、東露天鉱、新屯公園、西露天鉱、永安小学校跡、撫順プール、旧撫順高等女学校建物を巡る。撫順駅は工事中なのか、巨大な広告看板で覆い尽くされていた。広大な西露天鉱は既に掘り尽くされまるで遺跡の様に夕陽の中に眠っていた。撫順プールは壊れて雑草が生い茂っていた。旧撫順高女の建物は今も旧東七条通りであって銀行として使われていた。母たちが住んだ官舎の住所「西公園 2-6」を探すのは最後になった。撫順人に祖父の写真や撫順会の地図を見せながら探したが、陽が落ちてしまって確定できなかった。母が「花のように美しい」と私に言った撫順の第一印象は破壊と喧騒と失業者であった。

作品④ p060-061:

「1941 年、満洲国哈爾浜市にて、17 歳の母と松花江を望む」

Gazing at the Sungari River with Mother at 17 in Harbin in 1941

150cm x 183cm、写真とドローイングによるデジタルイメージをインクジェットプリント、2019 年制作

モノクロの雲:『飯田鐵太郎写真集、満州旅情-1938 年夏』(昭和 56 年 11 月、サンブライ出版)より写真「44-ロシア人の住宅街」

モノクロ母像:祖父のアルバムより「1941 年、満洲国哈爾浜市郊外の林檎園」(街頭写真師撮影の即席写真)

カラー風景:2004 年 9 月、中国哈爾浜市のホテル融府康年酒店の部屋窓より撮影

カラー私像と紫蘭:2005 年、横浜市都筑区の自宅バルコニーにて撮影

鉄製ベッドのドローイング:1941 年、哈爾浜に引っ越してきた時に鉄製ベッドに横たわって号泣したという母のエピソードに基づいて 2004 年に描いた

朝起きるとホテルの部屋の窓いっぱい松花江(スنگリ)が横たわっていた。その向こうには地球の丸さを感じるほどの長い地平線があった。その時突然分かったのだ、大陸の感覚が。そして、なぜ祖父たちが大陸を目指したかが。私は泣きながら窓の外の大陸を撮り続けた。

作品⑤ p071-074:

「1942-46 年、満洲国間島(延吉)市の間島高等女学校前にて、悲痛な表情の祖父」

Grandfather with a sorrowful expression in front of Jiandao Girls' High School, Jiandao, Manchuria, 1942-46

110cm x 400cm、過去と現在の写真によるデジタルイメージをインクジェットプリント、2019 年制作

モノクロ街景:『偽満洲国史実図証』(張承鈞 主編、2003 年 2 月、外文出版社、長城(香港)文化出版公司)より写真「偽満時期の間島延吉市場街」「偽満時期の延吉市街」

モノクロ祖父写真:祖父のアルバムより「1942 年頃、間島高女開校記念日」「1942 年頃、間島高女落成記念」「1948 年頃、悲痛な表情の祖父」の写真

カラー街景:2005 年 9 月、中国延吉市の旧間島高女建物および建物前を撮影

カラー私像:1971 年 4 月、私 18 歳、奈良女子大学寮前庭にて父が撮影。1942 年、母 18 歳

祖父のアルバムに「間島高女開校記念日」、「間島高女落成記念」と書かれた 2 枚の写真がある。1 枚は、草地に張った日除けの下で祖父と教職員が昼食を食べている。もう 1 枚は、日の丸を貼った仮設式場に父兄が集まり祖父が祝辞を述べている。祖父が張り切って女学校開校に臨んだ 1942 年から 4・26 事件に巻き込まれる 1946 年までの間に間島の街に何が起こったか、祖父にどんな葛藤があったか。1948 年頃の悲痛な表情の祖父の写真と向き合って新作をつくった。祖父は 1894(明治 27)年生まれ、敗戦の年は 51 歳であった。